

みやぎの木づかい運動

みやぎ材 利用のススメ

〈みやぎ材利活用事例集〉VOL.5



仙台市 八木山動物公園ビジターセンター



角田市 工房・美山の里



気仙沼市本吉町 水産物集出荷施設及び密漁監視施設

宮 城 県

「みやぎの木づくり運動」とは？

県内の森林資源は、スギを中心とする人工林の成長により、良質な木材を安定的に供給できる時期を迎えています。

この森林資源を有効利用することにより、森林の整備が推進され、ひいては森林が持つ「災害の防止」や「地球温暖化の防止」、「水資源のかん養」といった公益的機能の発揮につながります。

県では、一層の県産材の利用拡大を図るため、県内の市町村、関係団体、企業等と広く連携し、社会全体で県産材利用推進のPRを行う「みやぎの木づくり運動」を展開しています。

合い言葉は、～身近なところから県産材を使おう～

みやぎの木づくり事例



①宮城教育大学教職大学院の働きかけにより平成23年度から一部の中学校の技術家庭科に事例の県産木材が使用されます。



②宮城県産木材を使用した、洋服ダンス・長椅子。



④登米地域の里山を代表する松とコナラを利用し、素材の質感を活かした木製ソファです。



③宮城県産合板を使用し開発した、テーブル・カウンター・ベンチ。



⑤オリジナル木製品「むすび丸」木製うちわ間伐材事務用品「カンジくん」



＜シンボルマーク＞

「みやぎの木づくり運動」を统一的に推進するためのシンボルマークを公募により決定しました。みやぎの「M」をモチーフに、水と緑に恵まれた豊かな県土から生まれた県産材を利用した木製品をアピールする県民の姿がデザインされています。

■製品に関する問い合わせ先

仙台市立将監中学校(荒明先生) ①
TEL022-373-1286 FAX022-373-4136

みうら家具(株) ②
TEL0225-83-3647 FAX0225-83-3625

(株)イトーキ ③
TEL022-266-3511 FAX022-266-3517

たたみせ ④
登米町森林組合
TEL0220-52-2075 FAX0220-52-2876
(有)ウディアベエ工芸
TEL0220-34-7772 FAX0220-34-7775
北部地方振興事務所 林業振興部 ⑤
TEL 0229-91-0719 FAX:0229-91-0749

みやぎ材利用センター

みやぎ材製品のワンストップサービス窓口として、「みやぎ材利用センター」が平成18年7月にオープンしました。

みやぎ材利用センターは、住宅や公共施設建築に使用する建築資材や土木用資材などのみやぎ材製品を「優良みやぎ材」として安定的に供給するとともに、消費者から信用され、安心して利用していただけるよう、産地や生産者、含水率、強度などの製品情報を提供しています。

製品に関するお見積り・ご注文等は、下記の建築資材部・土木資材部・合板資材部まで直接お問い合わせください。

建築資材部



主な取扱製品

構造材（土台・柱・梁・桁など）・造作材（天井・敷居・鴨居・枠材・床材・壁面材など）・下地材などの建築用資材



県産材をふんだんに使った住宅は、住む人に暖かみと安らぎを感じさせてくれます。

また、木は(本来、)強度・断熱性・耐火性・耐久性など、バランスのとれた能力を持っています。



問合せ先

〒983-0036
仙台市宮城野区苦竹2-7-30
(宮城木材文化ホール内)
TEL 022-239-2011 (FAX兼)

土木資材部



主な取扱製品

杭丸太・加工丸太・チップ材などの土木用資材



道路の法面工事などで修景を必要とする工事や、急勾配護岸工、擁壁工、流路工等に利用されています。



木製の防風垣は、塩害にも強いことから海岸地域での利用に適しています。

問合せ先

〒981-3601
黒川郡大衡村大瓜字沓掛112
(宮城県森林組合連合会大衡総合センター内)
TEL:022-345-2205 (代)
FAX:022-345-2948

合板資材部



主な取扱製品

県産合板
(構造用合板・型枠用合板・厚物合板・長尺合板など)



厚物合板を床に使うと、火打ち梁と根太の省略で施工が容易になり、地震に対する性能もアップします。



全国各地で、地元産合板が選挙候補者ポスター掲示用看板として使用されており、宮城県の一部の市町村でも採用が決まっています。

問合せ先

〒986-0005
石巻市大瓜字棚橋下待井65-1
(石巻地区森林組合内)
TEL 0225-93-1711 (代)
FAX 0225-93-1707

■優良みやぎ材とは

みやぎ材利用センターでは、県内産の木材を原料に県内で加工された木製品について、規格や寸法、含水率などの品質を検査し、合格した製品を「優良みやぎ材」として供給しています。

品質を検査し、合格した製品には、安心・安全の証として「優良みやぎ材認証シール」を貼付します。

また、原木生産地名や製材・加工社名などを証明するため、「優良みやぎ材認証書」も交付します。

認証シール

優良みやぎ材



みやぎ材利用センター



優良みやぎ材で建築したモデルルーム「優良みやぎ材の家」
場所：宮城木材文化ホール地内

<品質表示内容例>

●寸法	10.5cm×10.5cm×4.0m
●含水率	SD20(仕上げ材20%以下)
●生産地	宮城県〇〇〇産

<優良みやぎ材>

●建築資材	構造材・造作材・下地材
●土木資材	杭・丸太加工材・合板・チップ材
●合板	構造用

■「みやぎ木のやすらぎ空間確保対策事業」

宮城県では、県民のみなさんに安心・安全な木のやすらぎの空間を提供するとともに、その事例について広くPRすることにより、県産材製品の利用促進と木造・木質化施設の普及促進を図ることを目的とし、下記の助成事業を実施しています。

1 事業内容

公共施設等における木材の良さを活かした内装等のモデル施工及びPR活動に対する助成

2 対象事業実施主体

市町村又は公益法人、社会福祉法人、学校法人、NPO法人等

3 補助率等 事業費の1/3以内

4 要件等

- (1)木材の特性を活かしたモデル施工として工夫がなされていること。
- (2)木材の良さ・地域材利用の意義等がアピールされ、波及効果が期待できること。
- (3)使用材料は、品質の明確な製品である「優良みやぎ材」等を活用したものであること。

5 事業の詳細な問合せ先

大河原地方振興事務所林業振興部	電話：0224-53-3249	FAX：0224-52-3485
仙台地方振興事務所林業振興部	電話：022-275-9252	FAX：022-275-0364
北部地方振興事務所林業振興部	電話：0229-91-0719	FAX：0229-91-0749
北部地方振興事務所栗原地域事務所林業振興部	電話：0228-22-2381	FAX：0228-22-5795
東部地方振興事務所林業振興部	電話：0225-95-1436	FAX：0225-23-3401
東部地方振興事務所登米地域事務所林業振興部	電話：0220-22-6125	FAX：0220-22-1604
気仙沼地方振興事務所農林振興部	電話：0226-24-2535	FAX：0226-24-8994
宮城県農林水産部林業振興課みやぎ材流通推進班	電話：022-211-2912	FAX：022-211-2919

■炭素と二酸化炭素のおはなし

地球温暖化の主な原因となる二酸化炭素を大気中から吸収し、蓄えてくれる森林は、植林を繰り返すことで持続的に木材を産出します。そして、木材で住宅等の建築物をつくることは、環境に負荷を与えないばかりか、炭素を街の中で蓄えるという、理想的な循環系を生み出します。

家1軒でどのくらい二酸化炭素を蓄えているのでしょうか？

木材1㎡当たりの重量は比重が0.4なので0.4tになり、炭素の貯蔵量は重量の50%なので0.2tとなります。この炭素の量を二酸化炭素に換算すると(炭素の量の約3.7倍)、約0.74tとなります。

したがって、住宅1棟(40坪程度)が吸収している二酸化炭素量は、約15tとなります(平均的な木材使用量20㎡×0.74t)。

木の年齢による二酸化炭素吸収量の違い



公共施設等木質化の事例

仙台市 八木山動物公園ビジターセンター



県産材を木材全体の90%以上使用し、「優良品やぎ材」もふんだんに利用した動物公園の多目的施設で、仙台市民はもとより県内外から訪れる来館者から木材の良さが体感できる施設と好評です。



木材使用量：約500m³
 二酸化炭素吸収量：
 約370t

気仙沼市 市立鹿折小学校



子供達の学習環境に配慮し、内装材に気仙沼産スギを使用、木の持つ暖かい雰囲気が出ています。



東松島市 大塩市民センター

木材使用量：約110m³
 二酸化炭素吸収量：
 約80t



地域のスギをたくさん使いました。多目的ホールは、広がり確保するためスギのトラス工法を採用しています。

気仙沼市本吉町

宮城県漁業協同組合大谷本吉支所 水産物集出荷施設及び密漁監視施設



木材使用量:約10m³
二酸化炭素吸収量:
約7t

塩害に強い木材の特性を活かし、外壁を杉の板張りにしました。内部も杉羽目板張りにするなど、木のぬくもりが感じられます。

栗原市 市立鶯沢幼稚園



木材をふんだんに使用した内装木質化で、安らぎの中で過ごせる空間を園児たちに提供しています。

角田市 工房・美山の里



交流スペースや外壁には地元角田産の杉材をふんだんに使い、入口では杉の丸太の柱が来場者を出迎え、里山の風景とマッチした木の香漂う工房となっています。

木材使用量:約35m³
二酸化炭素吸収量:
約30t

村田町 町立村田小学校



木材使用量:約1,500m³
二酸化炭素吸収量:
約1,000t



教室や廊下の壁面及び床面に木材が使われ、光あふれる温かさの感じられる校舎となっています。また、多目的スペース等の天井面には杉材がスリット状に配されるなど、木材がふんだんに用いられた施設となっています。

石巻市 養護老人ホーム万生園



地域の杉をたくさん使った建物です。やわらかな杉材の感触が暖かいと入所者の方々から好評を得ています。

木材使用量:約680m³
二酸化炭素吸収量:
約500t



大崎市鹿島台 幼保一元化市施設 なかよし園 自然との共生を考え自然との良好な関係を保つため、自然素材の木造で建築しました。



木材使用量:約320m³
二酸化炭素吸収量:
約240t

柴田町 グループホームつくし



木材使用量: 約100m³
二酸化炭素吸収量:
約70t

地元柴田町産材をはじめ、優良みやぎ材をふんだんに用い、多くの人が集うリビングスペースは屋根組まで吹き抜けとし、母屋や梁を見せることにより、木造の重厚感を漂わせる一方、木材の温かさが感じられるスペースとなっています。また、廊下やオープンスペースの床や腰壁にも無垢の木材を使うなど、木の香りに満ちた施設となっています。

白石市 水芭蕉の森・どうだんの森公園木道



木材使用量: 約70m³
二酸化炭素吸収量:
約50t

周辺のブナの森に溶け込んだ木道となっています。

仙台市 農業園芸センター



「優良みやぎ材」をふんだんに使用、年間25万人の訪場者に、みやぎ材の良さをPRしています。

木材使用量: 約30m³
二酸化炭素吸収量:
約25t

東松島市 大塩地区体育館

木の内装の色合いが落ち着きを感じさせ地域のシンボルとなっています。



登米市 都市公園トイレ

木材使用量: 約20m³
二酸化炭素吸収量:
約15t



地域材の温もりが公園利用の多い主婦や子供達を中心に喜ばれています。

七ヶ宿町 消防団・関班積詰所



木材使用量: 約20m³
二酸化炭素吸収量:
約15t



消防団員の詰所にはスギ材による腰壁と縁側風のベンチを配し、七ヶ宿の宿場町に合った町屋風の建物になっています。

大河原町 金ヶ瀬集会场

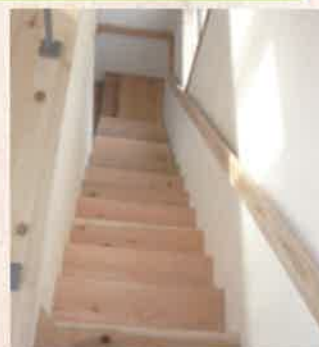


木の温もりが地域の利用者に好評です。

地域材製品導入事例／石巻市役所



優良みやぎ材使用住宅施工例



◆◆ お問い合わせ先 ◆◆

宮城県 農林水産部 林業振興課

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1

TEL : 022-211-2912

FAX : 022-211-2919

ホームページ : <http://www.pref.miyagi.jp/ringyo-sk/>

E-mail : rinsin@pref.miyagi.jp



このパンフレットは再生紙を使用しています。
このパンフレットは、5,000部作成し、一部あたりの印刷単価は21円です。

平成23年3月作成